

◎競技上の注意（R8 春季大会）

1) ゲーム進行・方式について

- 男子：1回戦～3回戦（男子 No.1～600 まで）を**2 S ゲーム**、
4回戦～7回戦（男子 No.601～720 まで）を**ショートゲーム**、
準々決勝以降は**正式ゲーム**で行う。
- 女子：1回戦～2回戦（女子 No.1～365 まで）を**2 S ゲーム**、
3回戦～6回戦（女子 No.366～485 まで）を**ショートゲーム**、
準々決勝以降は**正式ゲーム**で行う。
- 男女ともに、第3・4シード決定戦ならびに第5～8シード決定戦を行う。

ゲーム形式について

- ・ **3 S (ｽﾘ-ｲｽ) ゲーム**：21点1ゲームマッチの延長ゲームあり。
- ・ **2 S (ﾂ-ｲｽ) ゲーム**：30点1ゲームマッチの延長ゲームなし。
- ・ **ショートゲーム**：6オールスタートの21点3ゲームマッチの延長ゲームありとする。
なお、ファイナルゲームのチェンジエンズはリードしているサイドが
14点に達したら行う。

- 2) ベスト64に勝ち残った者には県総体シングルスの出場権が与えられる。
- 3) コールのあった選手はただちに指示されたコートに入ること。
- 4) 各コートの主審はシャトルと審判用紙を持って本部へ（試合番号・学校名・姓・スコアの順）に報告し、次の試合の審判用紙を受け取ってそのコートの勝者へ渡す。勝者は主審と得点表示を同一校生と共にする。また敗者は、線審を同一校生と共にする。（学校対抗戦は主審・線審とも敗者校で行う。ただし、本部で特に指示があった場合はその限りではない。）
- 5) ゼッケンは背面に所定の大きさと良く見えるように着用する。
- 6) 昼食時間は本部で指示をする。従って無断で会場を離れてはいけない。
- 7) 会場内外の美化（上下の履き物の区別、観覧席等の整理整頓、飲食後の後始末等）と貴重品等は各校各自で管理し盗難予防に厳重に留意すること。また、下足は各自持参の袋に入れて持ち込み各自で管理すること。
- 8) 各自の言動には責任を持ち、高校のバドミントン部員としての誇りと自覚を持って行動すること。
- 9) 本大会は、（公財）日本バドミントン協会の競技規則並びに公認審判員規程、大会運営規程により行う。